

2. 全国の交通事故の傾向

表 2-1 及び図 2-1～図 2-5 に示すとおり、平成 22 年から令和元年における人口 10 万人あたり死傷者数の全国平均をみると、5 つのアウトカム指標全てにおいて減少している。また、全体的な死傷者数の減少と共に、平均値からの散らばり具合（ばらつき）を表す標準偏差も減少している。

この“ばらつき”を示す標準偏差に着目すると、「子ども」や「歩行者」に比べ「高齢者」、「自転車」、「生活道路」は比較的大きく自治体による差が大きい。特に「生活道路」においてその傾向が強くみられる。そのため、市区町村ごとの交通安全対策が「生活道路」における交通事故死傷者数に大きく反映されていると考えられる。

表 2-1 アウトカム指標別の人口 10 万人あたり死傷者数の全国平均及び標準偏差

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
65歳以上	平均	97.96	91.82	90.61	89.40	84.48	81.64	77.60	73.14	68.16	61.49
	標準偏差	41.00	40.96	40.27	41.12	39.29	38.80	36.77	34.01	30.99	28.51
15歳以下	平均	52.52	49.70	46.57	43.82	38.55	35.37	32.67	31.07	27.39	24.29
	標準偏差	23.78	24.49	22.97	22.93	21.66	21.05	18.10	17.10	14.86	14.17
歩行者	平均	55.74	53.01	51.75	49.25	46.12	44.82	42.01	41.34	39.61	36.52
	標準偏差	11.76	11.58	11.89	11.46	11.10	11.39	10.70	11.35	10.85	9.71
自転車	平均	119.34	113.13	103.67	94.83	85.40	76.95	70.86	70.32	66.39	62.14
	標準偏差	45.03	44.60	42.55	39.71	35.88	32.45	30.18	29.50	29.01	27.15
生活道路	平均	168.32	159.50	151.09	141.54	128.42	118.00	108.99	105.15	94.93	85.36
	標準偏差	95.91	94.50	95.52	91.28	85.01	85.99	81.11	78.56	73.72	61.89

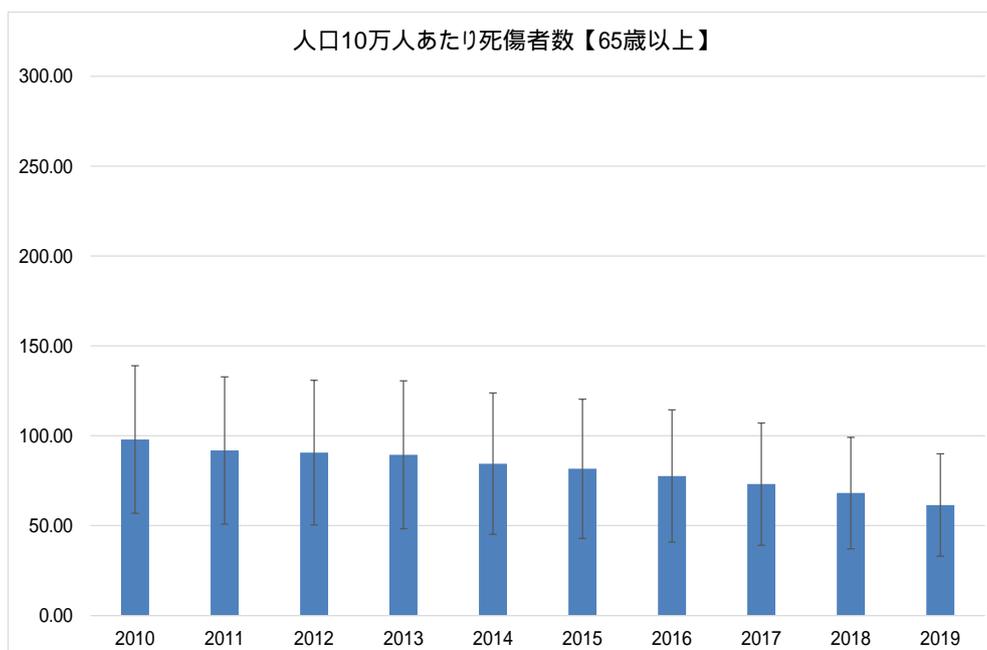


図 2-1 人口 10 万人あたり死傷者数（65 歳以上）の全国平均及び標準偏差

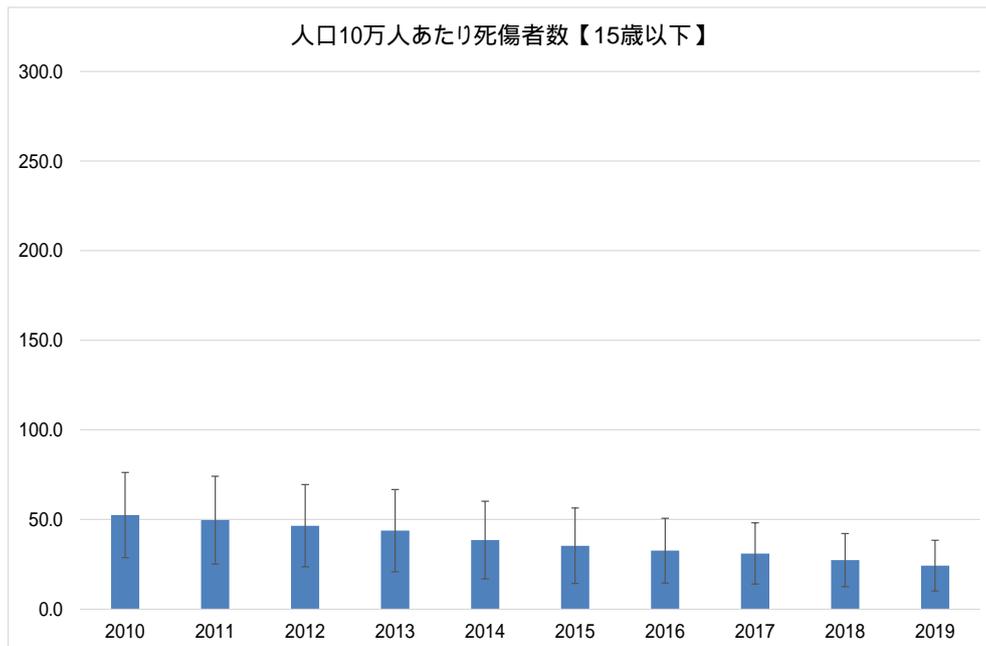


図 2-2 人口 10 万人あたり死傷者数（15 歳以下）の全国平均及び標準偏差

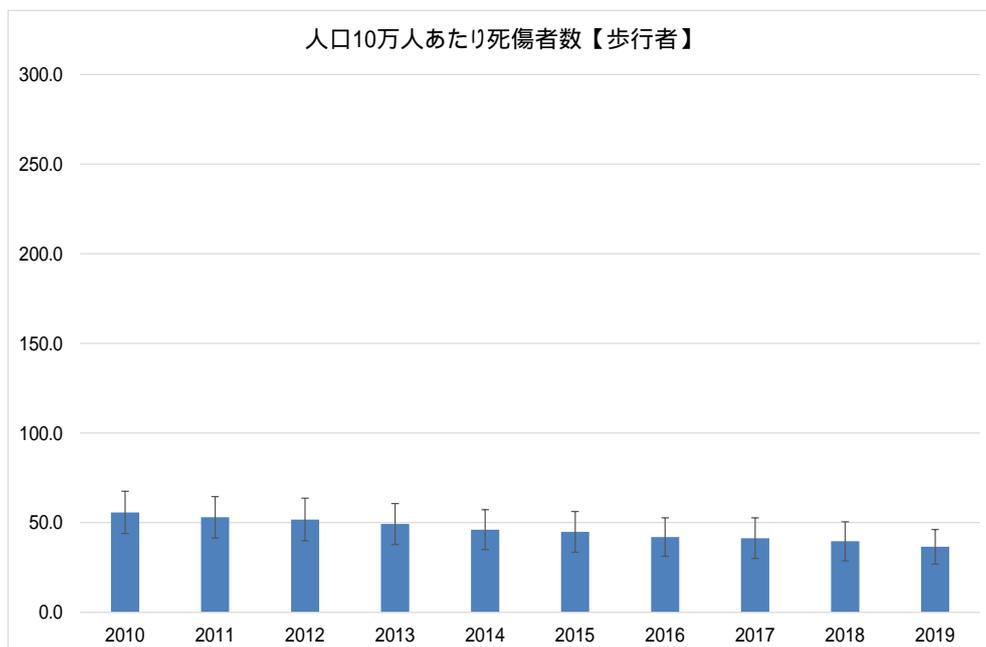


図 2-3 人口 10 万人あたり死傷者数（歩行者）の全国平均及び標準偏差

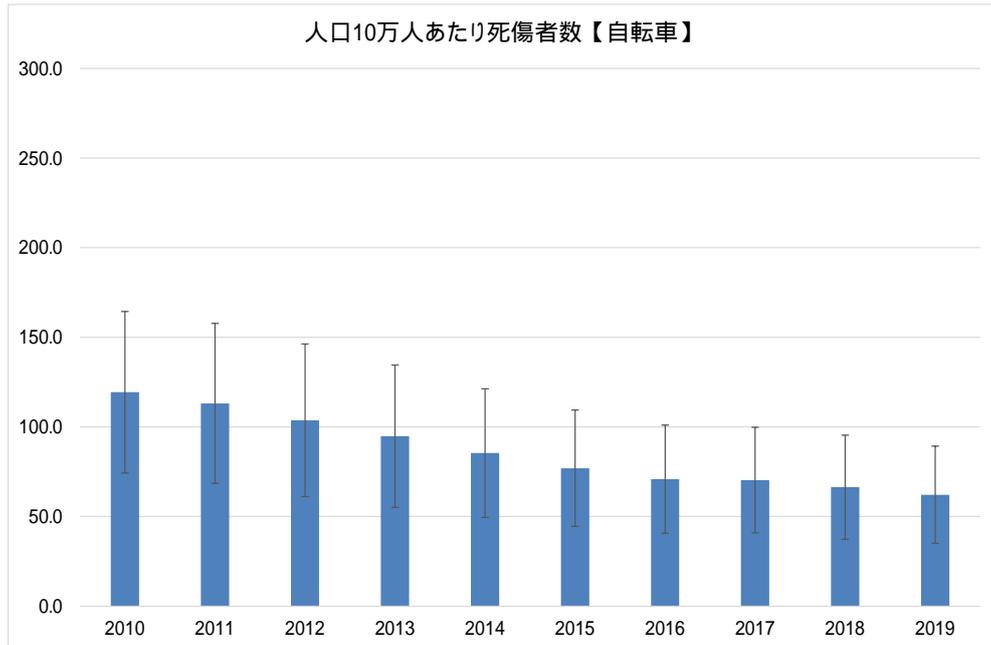


図 2-4 人口 10 万人あたり死傷者数（自転車）の全国平均及び標準偏差

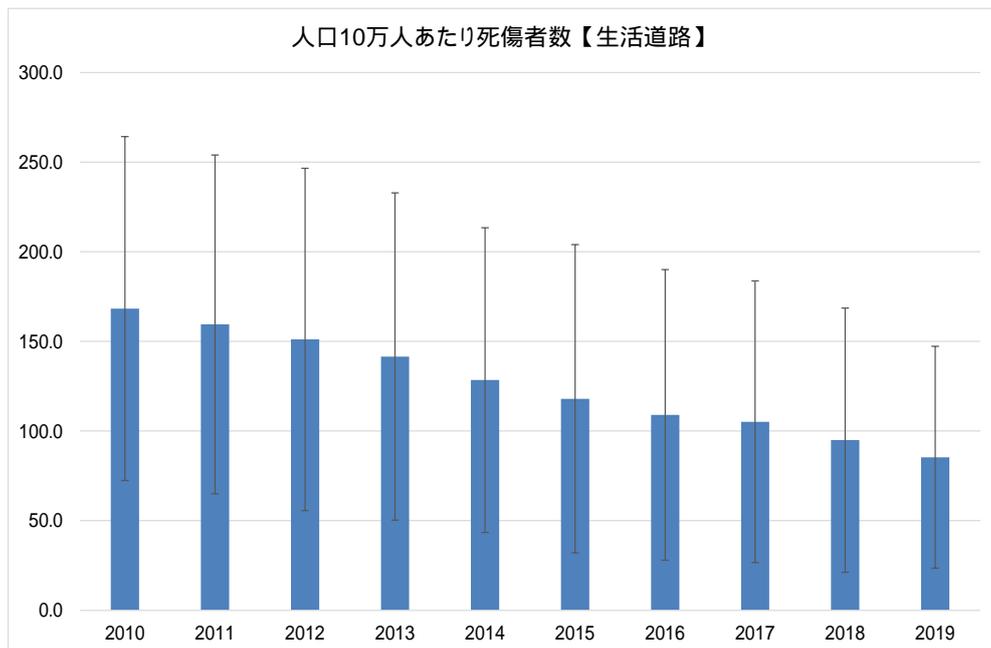


図 2-5 人口 10 万人あたり死傷者数（生活道路）の全国平均及び標準偏差